

学校教育 目標	「人間性豊かで知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成」
育成を目指す 資質・能力	・確かな学力の定着と向上 ・「人間性豊かな」生徒の育成 ・たくましい実践力

	学力状況について	学習状況について
生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○全国学力・学習状況調査(国・数・英)の正答率は、全ての教科で4pt以上全国平均を上回った。 ○大分県学力定着状況調査(5教科)の正答率は、全ての教科で9pt以上目標値を上回った。 ○正答率50%以下の生徒が、2年25人、3年40人(いずれも各教科平均)と二極化の傾向が強い。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○大分県学力定着状況調査における主体的に学習に取り組む態度の項目において、全ての教科が10pt以上全国平均を上回っており、特に英語は22.8pt、数学は16.9ptと学習意欲が高い。 ○知識・技能について、全国学力・学習状況調査では全ての教科で5pt以上、大分県学力定着状況調査でも全ての教科で11pt以上、全国平均を上回っている。 ○思考・判断・表現について、全国学力・学習状況調査では全ての教科で4pt以上、大分県学力定着状況調査でも全ての教科で9pt以上、全国平均を上回っている。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ○ノーチャイムによる主体的な行動をとることができている(『ノーチャイム』による2分前着席を行った)97%。 ○学習態度向上プロジェクトをはじめとした生徒主体の活動を行い、高い意識で授業に取り組むことができている(『今日のめあて』を理解し、積極的に授業に参加した)93%。 ○コロナ禍が落ち着き、理科の実験や話し合い活動での班活動に積極的に参加することができる(「授業が分かりやすい」92%)。	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ○『ノーチャイム』による授業1分前入室を行った」と回答した教職員96%。 ○『今日のめあて』『振り返り』を提示し、1時間完結型の授業を行った」と回答した教職員96%。 ○『UD・生徒指導の3機能』を取り入れた授業を1単元1時間以上実施した」と回答した教職員96%。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ○個別の補充学習を全学年で実施(定期テスト前にステップアップ質問教室を開催・夏季休業中に寺子屋学習実施など)。 ○「毎日ノート(担任)、学習ノート等の点検活動を継続的に行った」と回答した教職員91%。 ○パフォーマンステストの実施と生徒へのフィードバック。	

学力に関する達成指標

○「振り返り・まとめ」を生徒自らの言葉で書かせる授業の実践率90%以上 ○『UD・生徒指導の3機能』を取り入れた授業実施95%以上 ○「授業が分かりやすい」と回答する生徒95%以上、『今日のめあて』を理解し、積極的に授業に参加した」と回答する生徒95%以上 ○全国、県、市による学力調査で、全国平均値+10pt。 ○生徒による授業評価アンケートを毎学期末に実施(年3回)。各項目の平均値が全項目3.5以上。

